

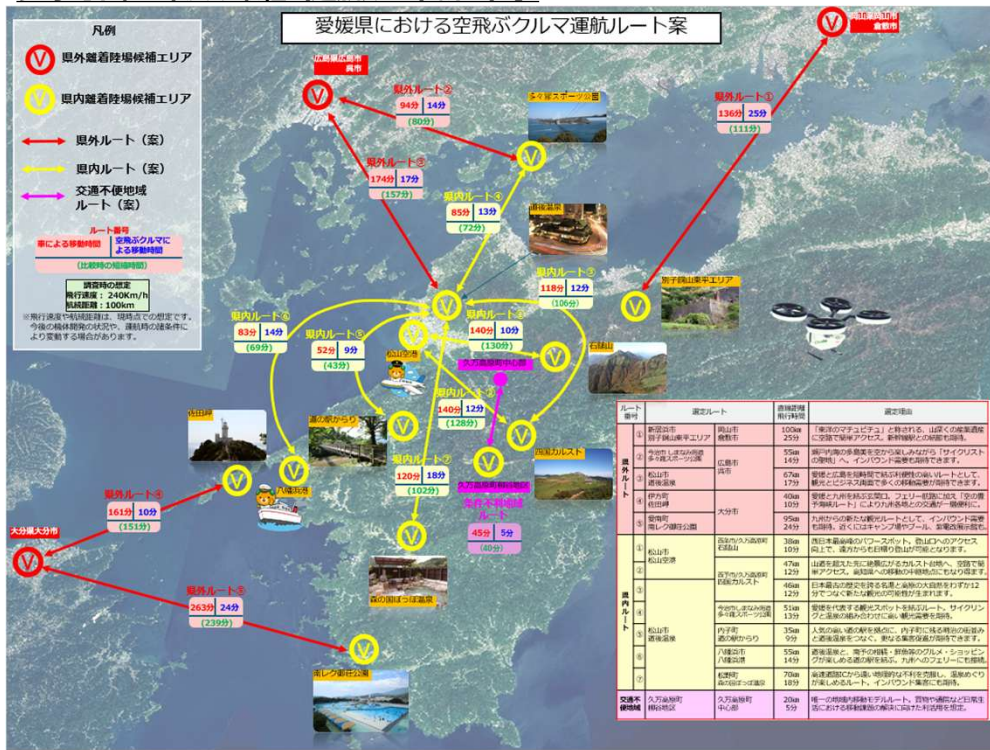
愛媛県及び今治市における「空飛ぶクルマ」運航実現に向けた 離発着場候補地等環境調査結果の概要

【離発着場候補地等調査の背景及び目的】

- 愛媛県では、空飛ぶクルマの社会実装に向けて、以下のロードマップを作成しました。
- 令和5年度は、愛媛県において①県内外を結ぶルート、②県内各地を結ぶルート、③離島や半島、山間部など交通が不便な地域での利活用について調査を実施しました。
- 令和6年度は、前年度に実施した運航ルート等の調査結果を踏まえ、空飛ぶクルマに対する県民の期待を高めるとともに、関係者の参入意欲を向上させることを目的とし、特に社会実装の可能性が高いと見込む今治市の島しょ部での運航ルート案を選定の上、その**離発着場の整備**や**飛行経路等**に関して、社会実装に必要な調査を愛媛県と今治市の共同で実施しました。

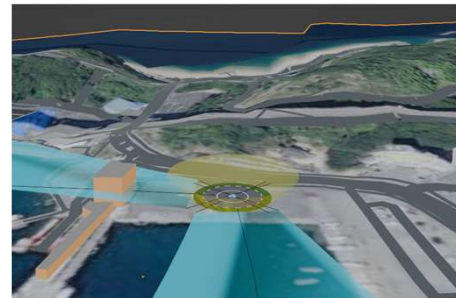


参考【令和5年度の取組（運航ルート調査）】



【パーティポート（VP）の整備検討】

- ヘリコプターがヘリポートから飛び立つように、空飛ぶクルマも離着陸するためには一定の空間や設備を備えた**空飛ぶクルマ専用の離着陸場（VP）**が必要不可欠です。
- VP設置にあたっては、安全に離着陸するために**VP周辺の一定の空間を障害物が無い状態**に設定し、騒音やリスク回避といった**周辺環境の安全評価**を行う必要があります。
- また、想定されるユースケースに基づいた需要予測を行うとともに、**空域調査や気象調査**等の具体的な飛行経路の設定等に必要な事項の調査を行いました。



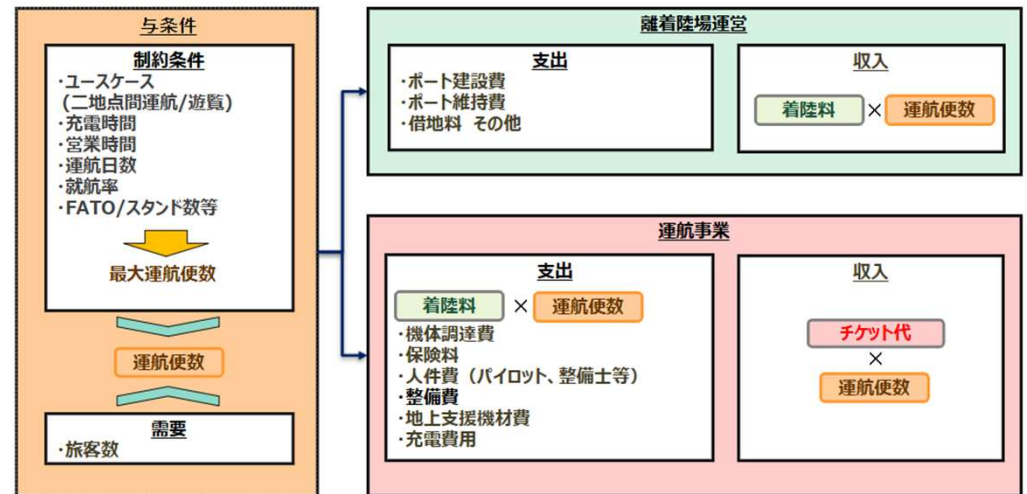
※各候補地における制限表面の検証



※今治市周辺の空域調査

【社会実装を見据えた収益予測】

- 想定される事業フェーズ毎にポート運営事業、運航事業等の与条件を設定し、需要やコストを見積もったうえで収益予測を行いました。
- 以下は、想定される主な事業の収益構造の一部となります。



空飛ぶクルマは、様々な分野で新たな産業や雇用を創出する事業機会でもあります。
ぜひ、県民、事業者のみならずのご理解、ご支援のほど、よろしくお願い致します！



【問合せ先】

愛媛県企画振興部政策企画局
地域政策課交通政策室企画グループ
TEL：089-912-2251 FAX：089-912-2249

今治市役所総合政策部企画政策局
市民が真ん中課
TEL：089-836-1503 FAX：089-832-5211

【愛媛県HP】



【今治市HP】



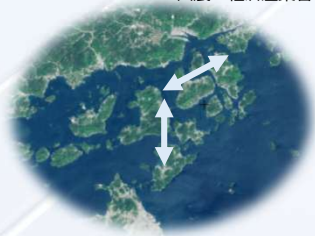
～愛媛県・今治市における「空飛ぶクルマ」の実装ストーリー～

次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（ReAMoプロジェクト）の全体アーキテクチャーならびに、今治市が有する観光資源と今治市の地理的要件を考慮し、遊覧飛行事業を足掛かりとして、ゆくゆくは大規模経済圏の往来の中継機能を担うことが期待できます。

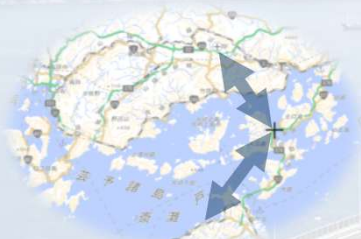
フェーズ1： 遊覧（A to A） 飛行距離：～10km



出展：経済産業省ウェブサイト



フェーズ2： 遊覧（A to B）、空港等との接続 飛行距離：～30km



フェーズ3： 大規模経済圏の往来の中継機能 飛行距離：～100km



<事業コンセプト>

アセットを極力持たないスモールスタートで事業を行い、しまなみの多島美や穏やかな気候を強みとした遊覧需要の掘り起こしと、さらなる事業拡大を目指したビジネスモデルの検証を行います。

<想定運用>

場外離着陸場を整備し、多くの需要が見込まれる時期に限定して事業を行います。

<事業コンセプト>

フェーズ1で掘り起こした空飛ぶクルマを活用した遊覧需要を強化しつつ、二地点間移動の需要を掘り起こすため、空港等との既存交通結節点の連携拠点を設けます。

<想定運用>

バーティポートを建設し、通年運航可能な環境を整備し、需要開拓を行います。

<事業コンセプト>

二地点間移動の需要を強化しつつ、瀬戸内海の真ん中に位置するという地理的強みを背景に、関西圏と九州圏を結ぶ路線の充電・休息需要を取り込み、価値があり、なおかつユニークなポジションを築きます。

<想定運用>

バーティハブを建設し、中継機の受入能力を強化しつつ、機体の整備事業といった新たな収益の柱を展開することで、バーティハブを起点とした新たなまちづくりに繋がります。



(↑)フェーズ1：場外離着陸場のパース



(↑)フェーズ2：バーティポートのパース



(↑)フェーズ3：多頻度運航を支えるバーティハブのパース

ワクワクするね！



便利なんやね～

